

岐阜大に最高評価 文部科学省「拠点大学による地方創生推進事業」

【概要】

本学は、令和3年4月1日（木）に令和3年度第1回学長記者会見を実施し、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）委員会による最終評価：最高の「S」」について説明しました。

地域活性化の拠点となる大学の形成を目的としたCOC事業、及び、それを引き継いだ、複数大学等で協働して地域が求める人材を養成し、その人材を地域に定着させるような大学の取組みを支援するCOC+事業において、3度の評価全てで最高の「S」評価を獲得しました。3度の評価において全て「S」を獲得したのは、全国で本学のみとなります。

取組みの核となる「次世代地域リーダー育成プログラム」は、「地域を知り」「地域の課題を見つけ」「地域の課題解決に向けて行動する」能力を備えたグローバルな人材を育成することを目的としており、全学部生に向けて本プログラムの受講を推進しています。なお、本プログラムは、地域リーダーコース・産業リーダーコース・教育リーダーコースの3つのコースで構成されており、他大学や自治体、企業等と協働して取組みを進めていることも大きな特徴の1つとなっています。

また、「ぎふフューチャーセンター」と呼ばれる、学生を含めた多様な人々が地域の課題解決に向けた対話を行う場の創出や、複数の学問の協働によって地域の課題解決を図る「地域志向学」の推進などにも力を入れています。

今後は岐阜県を含めた東海地域に範囲を広げながら、地域創生SDGsの推進拠点として、「次世代地域リーダー育成プログラム」内に新たに環境リーダーコースを設置する等、今までに取り組んできたことを更に発展させながら、東海地域全体の様々なニーズに応えるプラットフォームとして邁進していきます。



説明する森脇学長



説明する益川地域協学センター長

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/4/2	岐阜	地方創生推進カリキュラム 岐阜大「最高評価」 文科省事業 ～ 地域協学センター 益川浩一センター長 ～
2021/4/6	中日	岐阜大に最高評価 文科省の「拠点大学による地方創生推進事業」 森脇学長「人材定着に貢献」 ～ 森脇久隆 学長, 地域協学センター 益川浩一センター長 ～